

2008
賀
年

A HAPPY NEW YEAR COLUMN

鎌倉の猫事情 今までのお話 その一

皆様、あけましておめでとうございます。
 長きに渡り「鎌倉の猫事情」ご愛読頂き、まことにありがとうございます。
 このたび新年にあたって、このお話の登場猫達に成り代わりご挨拶させて
 頂いておりますは、この物語のそもそもの始まりであります、ミルクホールに
 16年の間暮らし、伝説ともなっております、シュガーと申すものでございます。
 私、もうとうに他界しております、ふさふさとした毛並みも、逃げ足の速い
 四ツ足も、時折気に入らぬものに使う鋭い爪も持ち合わせてはおりません。
 けれど、この家の二階におきまして、静かに息を引き取ってより、
 ずっとこの家に住まい、あるいは出入りする者たちを、陰ながら
 見守って参りました。私が他界してから、もう十年近くの月日が
 経ちました。あの日のことは忘れもしません。もうそろそろあの世
 からお迎えが来ること、自分で申すのもなんですが、心正しく
 立派に覚悟を決め、主人の足元の座布団に横たわっております。
 夜半になり、さあ、その時という頃、主人はグウグウ寝入っており
 まして、仕方なく私は一人息を引き取った次第であります、しば
 らくすると、さすがに主人もはっと起きて、寝ぼけまなこをこすりなが
 ら私の冷たくなった体をさすってそのことに気づいたのであります。
 主人は悲しそうな顔をしました。翌朝になるとこの家のお婆が私が亡くな
 ったの聞き、座布団に横たわった私をいきなり杖で突付いたのでございます。
 ひどい事をするじゃありませんか。しかし、私が本当に動かないことを知ると、
 しかめ面をして顔を振って去って行きました。その後私は、長谷の光明寺に
 おいて他のもろもろの猫や犬どもとともに仏門？に入ったのでございます。
 そんなふうには器量自慢の三毛猫だった私が、姿かたちをなくしたのであり
 ますが、その日からずっとこの家を見守ってきたわけでございます。
 その後一年ばかりでグーニーというチビ猫がこの家にやってきました。
 それは、まあ、なんと申しましょうか、近頃の若いもんときたら…まあ……
 猫の世も人の世と同様、移り変わるものでございます。
 そんなこんなで、私が見てきたこの家の物語を、
 今回は、もう少しテンポ良くお話したいと思います。



Devil

除夜の鐘と悪魔

ゴォーン~ ゴォーン~ ゴォーン~ 2222..

鎌倉の静かな夜の、除夜の鐘の音を子守唄に、うとうと眠りに入っていた。
 そこへ、もわ~っと生温かい風が顔に触れるのを感じて目を覚ますと、真っ黒い
 三角頭巾にマントをまとい、ギラリと光る鎌を手にした悪魔が覗きこんでいた。
 「あぁ、悪魔！…いや、あなたでしたか？ すいぶんとお久しぶりで…」
 「うむ、あけまして、おめでとう」「今なんて？ 新年の挨拶なんかして、どこか体の
 具合でも悪いんじゃ？」「はははは、悪魔が病気になるのはお笑い種だ。人間ど
 もに病気を撒き散らす悪魔がね。まあ、いい、心配してくれてありがとう」「おめで
 うとか、ありがとうとか、やっぱり変だ。最近何か心境の変化でもあったんですか？」
 「君がああ除夜の鐘を聞きながら、百八つの煩惱だかなんだかを払った気になっ
 て無邪気に寝てる姿を見てたら、なんだか痛々しく思えてね。それだけのことだ。
 じゃ、邪魔したね」と、悪魔はマントを翻して立ち去ろうとする。なんだかその後の
 姿が弱々しく見える。「ちょっと、ちょっと待って下さいよ。今来たばかりじゃないで
 すか、久しぶりなんだし、もう少しゆっくり話でも。新年早々気になるなあ…おめ
 であうとか、ありがとうとか、悪魔らしくもない。まるで人が変わった。ずうずうしくて、
 ぶてぶてしくて、人を小馬鹿にして、嘘つきで、それに…」
 「君は相変わらず何も理解していないな。ようするにだ、私は一見悪
 魔でもあるが、その実、神さまの使いでもあるのだ！」と、少しいらだ
 った悪魔は胸を張って厳かに言ってきた。「また神さまか…
 わからないな。じゃあ、その真っ黒いマントや鎌は何なんですか？」
 「ふん、私が悪魔なるものか、神の使いなるものなのか、それは、
 所詮、君の内なる問題なのだ！」と、悪魔はあくまで突っぱねる。
 「…わけがわからない。それではいったい、貴方は何なんですか？」
 「ふむ、ただ一言、真実を知るもの、と言っておこう。さらば、じゃ…」
 と、悪魔は今度は本当にマントを翻し、闇の中へ消えていった。
 窓の外からは、夜半に八幡様に初詣に向う人達の笑い声が聞こえていた。



to be continued



でぶとやせ 北斎漫画
Fatty and Slender. By Hokusai



Milk Hall 2008

ミルクホール
2008年スケジュール

ミルクホールを今年も
よろしく願い致します。

ミルクホールの蚤の市

3月 春の市
7月 夏の市
10月 秋の市
12月 THE LAST BAZAAR
毎月25日

ミルクホールタイムス発刊
毎月第三土曜日
ライブ PM 7:30より



営業時間・休業日
定休日なし
9月初旬臨時休業あり
AM11:00 ~ PM10:30
土・日・祝日はAM10:00より

毎月第三土曜日の夜は
ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

TOPICS

KAMAKURA *Now!*

鎌倉 新年 1月の行事

- 2日 船おろし(坂ノ下海岸)
- 4日 船祝い(腰越海岸)
手斧始式(鶴岡八幡宮)
建築業者の仕事始めとして行われる儀式
- 5日 除魔神事(鶴岡八幡宮)
武士の仕事始の行事。大きな的の裏に「鬼」の文字を書き、約40メートル離れた所から射抜いて悪魔を払う。
- 8日 大注連祭(白山神社)
豊年を祈願し、新しいウラでムカデ(毘沙門天のお使いといわれている)を模した大注連を張る。
- 10日 鎌倉えびす(本覚寺)
今年の商売繁盛や景気が良くなるように祈る。
護摩焚き供養虚空蔵堂(坂ノ下)
この日に限って開帳し、護摩をたき読経が行われる。
- 13日 左義長(鶴岡八幡宮)
どんと焼き。門松やしめ飾りなどをたき上げる。
- 15日 閻魔縁日(円応寺)
地獄の釜のふたが開き、すべての仏が解放される。
閻魔王は「子育てえんま」と呼ばれ、ここで名前をつけてもらうと丈夫に育つといわれている。
- 太子講(宝戒寺)
聖徳太子を守護神として信仰している。この日は護摩を焚き読経をし、木遣唄などの奉納が行われる。
- 16日 筆供養(荏柄天神社)
文殊祭(常楽寺)



LIVE

1/19 Sat. pm 7:30

by HALF MOON

琢磨 仁(Jin Takuma)
琢磨 啓子(Keiko Takuma)

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

ライブチャージは頂いておりません。
普段と同様にミルクホールのライブを、お酒とおいしい
お料理でお楽しみ下さい。

<http://www.e-half-moon.com/>



Milk Hall Times

ミルクホールタイムス 総集編
「鎌倉ミルクホールタイムス」

No.001 ~ No.100 ¥1800

ミルクホールタイムスを1976年の創刊号より、100号までまとめた総集編です。人気連載中の「鎌倉の猫事情」が第一話から第一部の終わりまで、他にガラクタ通信、ミルクホール30年の逸話など掲載しています。

ミルクホールタイムス定期購読募集

ミルクホールタイムスは、毎月25日に発行しております。定期購読お申し込みの方には、毎月25日郵送いたします。お申し込みは、当店か、ミルクホールホームページにて。お葉書、FAX、メールなど、お待ちしております。

年間購読料 ¥1500

ミルクホールタイムス編集部

〒248-0006 PHONE 0467-22-1179
鎌倉市小町 2-3-8 FAX 0467-24-9537
e-mail/info@milkhall.co.jp





2008
賀
会
ANTIQUE

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク



次回、ミルクホールの
骨董ガラクタ市

蚤の市は
3月に開催致します

ミルクホールのアンティークは
明治・大正時代の日本で創られたものを中心に
大正ロマンの香り漂う暮らしの中で親しまれた品々を
買いやすい価格で揃えています
伊万里やガラス器、大正時代の着物など
意外な掘り出し物も・・・

♠ **和洋家具**

- 明治・大正時代の和洋家具
大正時代両面鏡額縁付き
明治時代衣装箆笥 抽斗2段
大正時代ガラス水屋
大正時代近江水屋箆笥
明治・大正時代小箆笥各種
昭和初期デスク色々
明治～昭和文机各種
大正時代衣装箆笥各種

♣ **古民芸・骨董**

- 明治・大正漆器
鉄瓶・鉄五徳・蔵の金具
道教の壁画 女人像
大正時代ランプ
明治染付タイル
李朝盆・根来碗
灯籠台天燈器
浮世絵硝子絵
アフガン石仏



◆ **アンティーク**

- 病院用スタンドライト
明治・大正のレースガラス各種
アンティークシェード各種
レプリカシェード ¥5800より

♣ **古陶磁**

- 伊万里・古伊万里・明治べろ藍・
大正色絵等々 買い易い価格で入荷
江戸中期古唐津水盤
明治銅版小皿 文明開化絵皿
伊万里輪茶碗・そば猪口各種
古伊万里豆皿・なます 平戸猪口
明治瀬戸石皿・鉢 明治銅版火鉢
高麗青磁色々 明古染 杯
初期伊万里陶片 古瓦各種

..... **和の小もの** つくり帯

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地をほどいて 半衿・帯揚げ
ちり緬や銘仙など素材に使った和の小ものです くるみボタン
かんざし

✂ **半衿・帯揚げ**

昔の着物をほどいて半衿に仕立てました。
着物のおしゃれのポイントは半衿です。
使いやすいのは絞りの半衿、大正風にアレ
ンジするなら鮮やかな柄物の銘仙など、
個性的なコーディネートが楽しめます。
半衿・帯揚各種 ¥800より

✂ **帯・つくり帯**

ミルクホール新作帯
大正・昭和初期の華やかな着物を解いて
帯に仕立てました。ミルクホールのオリジ
ナルです。半幅帯・名古屋作り帯の2種類。
軽くて長い時間締めても苦しくありません。
名古屋作り帯 ¥6800より
半幅帯

✂ **古布**

絞り・小紋・銘仙・大島など、古い着物をほど
いて作っています。値段の目安は
1メートルで1000円ほどです。

着物・アンティーク古着

- 大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの銘仙や
お召しの着物など入荷しています
久留米紆 ¥7800より 銘仙着物 ¥6500より
お召し ¥6800より 小紋 ¥3800より

✂ **くるみボタンと
かんざし**

昔の着物をほどいて作りしました。
くるみボタン ¥100より
くるみボタンコーム
手作りかんざし ¥1800より



わねと泣く... 昔の着物...
心づくしはあらたな着物も
わねと泣く... つひかりて
わねと泣く... 昔の着物...
行燈のかげふみかば
身をつまみし心
涙みたる矢かゆら
りふり二作